

例会報告

第331回 「金立山に登りながらの自然の地形や地質・岩石について学習しよう」

佐賀市（2023. 11. 29）

今回は、元地学同好会事務局の内川義尚先生を講師にお迎えして金立山に登りました。また、例会には毎週水曜日に金立山登山をしているグループからもお手伝いに来ていただきました。

金立山は地質的に見ると、ほとんどが花崗岩です。しかし、花崗岩の風化や真砂化、流水の働きなど、地学の面白いお話を聞くことができました。

はじめに金立教育キャンプ場から見える佐賀平野の成り立ちについて説明受けてから登り始めました。金立山は標高 502m、標高約 100m の教育キャンプ場から一気に 400m 登ることになります。そのため、なだらかところはあまりなく、ほとんどが急な上り坂となり、子供たちにとっては少し大変そうでした。途中で休憩を取りながら、登り始めて約 2 時間で金立神社の上宮に到着、その後 10 分くらいで金立神社の奥の院に到着しました。

奥の院にお参りをしてから昼食をとりました。そこでは、井上英史先生とお父様の井上英幸先生のお出迎えがあり、昼食後には井上先生方から金立山で見られる植物についてのお話を聞くこともできました。シイの実の話聞いた子供たちは、早速いろんな種類のシイの実を拾っていました。

下山は、最短のルートで帰りました。途中には、吹上観音摩崖仏があり、この辺りが昔から信仰の対象になっていたのだと改めて感じることができました。1 時間ちょっとで集合場所まで下りてきて解散となりました。（参加者：13 名）

参加者の感想から

田端 りきたか	本日は山を登り、運動もできて地質についての知識も得られて、まさに一石二鳥だと思いました。ちょうど、5 年の宿泊体験学習で背振の山に登ったので、楽勝かと思いましたが、全然楽しじゃなかったです^_^。今日、ここで聞かせていただいた地質についての話から、自学を書いています。11 月 20 日に学校に提出するので、その時の先生の評価も楽しみです。本日はありがとうございました。
---------	---

☆多例会で分かったことを自学ノートにまとめて素晴らしいと思いました！
これからもこのような身近な科学や歴史についてたくさん発見しましょうね。



このような坂が続きます



切通で真砂化を見ました



水が流れているところもありました



土柱も見れました



足元に気を付けて進みます



金立山上宮



金立山奥の院



井上先生のお話を聞きました



下山ルートへの入り口



吹上観音摩崖仏